令和3年度 仙台高等専門学校専攻科

学 生 募 集 要 項

出願書類添付

情報電子システム工学専攻
生産システムデザイン工学専攻

区　分	出願期間	検査日	合格発表日
推薦選抜	令和２年 ５月　７日（木） ～５月１３日（水）	令和２年 ５月２１日（木）	令和２年 ５月２９日（金）
社会人特別選抜			
学力選抜	令和２年 ５月２９日（金） ～６月４日（木）	令和２年 ６月１２日（金）	令和２年 ６月２５日（木）

令和２年２月

独立行政法人 国立高等専門学校機構
仙台高等専門学校
National Institute of Technology, Sendai College

問合せ先

広瀬キャンパス
〒989-3128
仙台市青葉区愛子（あやし）中央四丁目１６番１号
TEL：022-391-5542（学務課入試係）
FAX：022-391-6146

名取キャンパス
〒981-1239
名取市愛島（めでしま）塩手字野田山４８番地
TEL：022-381-0254（学生課教務係）
FAX：022-381-0267

E-mail nyushi@sendai-nct.ac.jp　ホームページ https://www.sendai-nct.ac.jp/

目　　次

学生募集要項

Ⅰ　アドミッションポリシー　・・・・　1
Ⅱ　募集人員及び選抜方法　・・・・・　1
Ⅲ　選抜日程　・・・・・・・・・・・　1
Ⅳ　JABEEの認定を受けた教育プログラム修了要件の確認について　・・・　1
Ⅵ　推薦による入学者の選抜　・・・・　2
　1．出願資格　・・・・・・・・・・　2
　2．出願期間及び提出先　・・・・・　2
　3．出願書類等及び出願手続　・・・　2
　4．選抜の方法　・・・・・・・・・　3
　5．合格者の発表　・・・・・・・・　3
　6．入学確約書の提出　・・・・・・　3
Ⅶ　社会人特別選抜　・・・・・・・・　3
　1．出願資格　・・・・・・・・・・　3
　2．出願期間及び提出先　・・・・・　4
　3．出願書類等及び出願手続　・・・　4
　4．選抜の方法　・・・・・・・・・　5
　5．合格者の発表　・・・・・・・・　5
　6．入学意思確認書の提出　・・・・　6
Ⅷ　学力検査による入学者の選抜　・・　6
　1．出願資格　・・・・・・・・・・　6
　2．出願期間及び提出先　・・・・・　6
　3．出願書類等及び出願手続　・・・　6
　4．選抜の方法　・・・・・・・・・　8
　5．合格者の発表　・・・・・・・・　9
　6．入学意思確認書の提出　・・・・　9
Ⅸ　入学手続及び諸経費　・・・・・・　9
Ⅹ　長期履修学生制度　・・・・・・・１０
Ⅺ　個人情報に関する取扱いについて　１０
Ⅻ　入試情報の開示について　・・・・１１
Ⅷ　その他　・・・・・・・・・・・・１１

入学案内

≪ 情報電子システム工学専攻 ≫
１．目的　・・・・・・・・・・・・・・１２
２．情報電子システム工学専攻の修業年限及び修了要件　・・・・・１２
３．情報電子システム工学専攻の特色　１２
４．学位（学士）の取得方法　・・・・１２
５．情報電子システム工学プログラムについて　・・・・・・・・・・・１３
６．修了後の進路　・・・・・・・・・・１７
≪ 生産システムデザイン工学専攻 ≫
１．目的　・・・・・・・・・・・・・・１８
２．生産システムデザイン工学専攻の修業年限及び修了要件　・・・・・１８
３．生産システムデザイン工学専攻の特色・・・・・・・・・・・・・・・１８
４．学位（学士）の取得方法　・・・・１９
５．「生産システムデザイン工学」教育プログラムについて　・・・・１９
６．修了後の進路　・・・・・・・・・・２２

検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点　・・・２４

添　付　書　類

① 入学願書
② 写真票･受検票
③ 検定料振込済証明書貼付票
④ 調査書
⑤ 推薦書
⑥ 入学志願者自己調書
⑦ 受検承諾書（社会人特別選抜用）
⑧ 宛名票
⑨ 検定料振込依頼書

令和３年度　仙台高等専門学校専攻科
学 生 募 集 要 項

Ⅰ　アドミッションポリシー

本専攻科の入学者に期待される人間像及び入学者選抜の基本方針は、次のとおりです。

１．入学者に期待される人間像
１）自ら学ぶための基礎的な学力と資質を有する人
２）コミュニケーションの基本を身に付けた人
３）社会の一員として、社会に貢献する気概を有する人
４）自発的に問題を発見し、解決する意欲を有する人
５）豊かな人間性を有する人

２．入学者選抜の基本方針
１）科学・工学の基礎的な学力を評価します。
２）論理的に自分の考えを相手に伝える能力を評価の対象とします。
３）さらに推薦選抜においては、社会の一員として、さまざまな問題を自発的に発見・解決し、人類・社会に貢献する意志を重視します。

Ⅱ　募集人員及び選抜方法

専　攻　名	入学定員	募集人員・選抜方法		
		推薦選抜	学力選抜	社会人特別選抜
情報電子システム工学専攻	３０名	１５名	１５名	若干名
生産システムデザイン工学専攻	４０名	２０名	２０名	若干名

※入学定員には、外国人留学生特別選抜により入学する若干名が含まれます。

Ⅲ　選抜日程

区　分	出　願　期　間	検　査　日	合格発表日
推　薦　選　抜	5月　7日（木）～　１３日（水）	5月２１日（木）	5月２９日（金）
社会人特別選抜	5月　7日（木）～　１３日（水）	5月２１日（木）	5月２９日（金）
学　力　選　抜	5月２９日（金）～6月４日（木）	6月１２日（金）	6月２５日（木）

Ⅳ　JABEEの認定を受けた教育プログラム修了要件の確認について

各専攻には、JABEE（日本技術者教育認定機構）の認定を受けた教育プログラムがあり、各専攻の修了要件を満たし、かつ認定教育プログラムの修了要件を満たす者には「修習技術者」の資格が与えられ、さらに、将来、規定された条件を満たすことで、最短４年で技術士の資格が得られます。

本校出身者以外で「JABEE（日本技術者教育認定機構）の認定を受けた教育プログラム」の修了を希望する者は、出身校で取得した授業科目について確認する必要がありますので、必ず各選抜の入学願書受付開始期日２週間前までに、本校学務課学務係（情報電子システム工学専攻　TEL：022-391-5537）又は学生課教務係（生産システムデザイン工学専攻　TEL：022-381-0265）に照会してください。

なお、プログラムの詳細は１２ページからの入学案内を参照してください。

Ⅴ　推薦による入学者の選抜

１．出願資格

令和３年３月に高等専門学校を卒業見込みの者で、学校長が成績及び人物共に優れていると認めて推薦するもの（成績については、高等専門学校１～４年次における成績がおおむね上位二分の一以内であることを目安とする。）

２．出願期間及び提出先

⑴　受付期間　令和２年５月７日（木）から令和２年５月１３日（水）
⑵　受付時間　９時から１６時まで
⑶　提 出 先　≪ 情報電子システム工学専攻 ≫
仙台高等専門学校広瀬キャンパス　学務課入試係
〒 989-3128 仙台市青葉区愛子中央四丁目１６番１号

≪ 生産システムデザイン工学専攻 ≫
仙台高等専門学校名取キャンパス　学生課教務係
〒 981-1239　名取市愛島塩手字野田山４８番地

※　専攻により提出先が異なりますので注意してください。

３．出願書類等及び出願手続

⑴　出願手続は、次の書類等を整え、在籍高等専門学校を経て入試係又は教務係へ提出してください。
③～⑤及び⑦の本校所定の様式は、本校ホームページからダウンロードできます。

出願書類等	摘　　要
① 入学願書	本校所定の様式に必要事項を記入してください。
② 写真票・受検票	本校所定の様式に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼付してください。（写真は縦４㎝×横３㎝、出願の３か月以内に撮影した、上半身、脱帽、正面向きのもの）
③ 推薦書	本校所定の様式を使用し、在籍学校長が作成したもの。 ただし、本校の準学士課程に在籍する者が出願する場合は、所属する学科の長が作成したものを提出してください。
④ 入学志願者自己調書	本校所定の様式を使用し、出願者自身が作成したもの。
⑤ 調査書	本校所定の様式を使用し、在籍学校長が作成し厳封したもの。 なお、高等学校から高等専門学校に編入学した者については、出身高等学校の調査書も併せて添付してください。 （※調査書には、成績証明書を添付する必要があります。）
⑥ 検定料	１６，５００円 本校所定の振込依頼書に必要事項を記入の上、金融機関の窓口にて振り込んでください。振込後、「検定料振込済証明書」を「検定料振込済証明書貼付票」に貼付してください。ＡＴＭは証明書が発行されないため使用できません。 ただし、ゆうちょ銀行をご利用の場合は、本校所定の振込依頼書を使用することができませんので、２４ページの「検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点」を参照してください。 また、ゆうちょ銀行から振り込む場合は、「振込依頼書（兼振替払出請求書〔電信扱い〕（お客さま控 ）」を「検定料振込済証明書貼付箇所」に貼らずに提出してください。 なお、納付済の検定料は、理由のいかんにかかわらず返還しません。ただし、次の場合は検定料を返還しますので、入試係又は教務係までお問い合わせください。

	・検定料を納付したが出願しなかった又は出願が受理されなかった場合 ・検定料を誤って二重に納付した場合
⑦ 宛 名 票	本校所定の様式に志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。
⑧ 返信用封筒 （受検票送付用）	長形３号の封筒に志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入し、３７４円分（定形・速達）の切手を貼付してください。ただし、出願時に願書を持参し、後日受検票を直接受け取る場合は不要です。
⑨ そ の 他	外国籍を有する志願者は、市区町村長の発行する住民票の写し（又は住民票記載事項証明書　＊全事項が証明されているもの）を提出してください。

(2)　出願及び受検上の注意事項

①　郵送での出願は、必ず**「簡易書留郵便」**とし、封筒の表に**「専攻科出願書類在中」**と朱書きし、**５月１３日（水）１６時まで**入試係又は教務係へ到着するようにしてください。

②　受検票は、入学願書の受付後発送します。５月１８日（月）まで受検票が未着の場合は、入試係又は教務係に問い合わせてください。また、検査当日は、必ず受検票を携行してください。

③　出願書類に不備のあるものは受理できません。また、出願書類提出後は、記載事項の変更は認めません。ただし、現住所（連絡先）に変更が生じた場合は、速やかに入試係又は教務係に申し出てください。

④　出願書類に虚偽の記載事項があった場合は、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。また、受理した出願書類等は返還しません。

⑤　身体等に障がいがある者で、受検上及び修学上特別な配慮を要すると思われる場合は、４月２５日（木）までに入試係又は教務係へ連絡してください。

４．選抜の方法

推薦による入学者選抜は、在籍学校長から提出された推薦書、調査書、入学志願者自己調書及び面接の結果を総合判定して行います。

(1)　検査日　令和２年５月２１日（木）１０時から

(2)　受検地　情報電子システム工学専攻　→　仙台高等専門学校広瀬キャンパス

生産システムデザイン工学専攻　→　仙台高等専門学校名取キャンパス

※　集合時間･場所等の詳細については、別途お知らせします。

５．合格者の発表

令和２年５月２９日（金）１５時（予定）に合格者の受検番号を受検したキャンパスに掲示するほか、合格者に「合格通知書」を送付します。

また、同時刻以降に本校ホームページ（https://www.sendai-nct.ac.jp/）に掲載します。

電話・ファックス等による合否の照会には一切応じません。

６．入学確約書の提出

推薦選抜に合格した者は、入学意思の確認のため令和２年６月４日（木）までに「入学確約書」を提出してください。入学確約書を提出しない者は、本校に入学の意思がないものとして取り扱います。

Ⅵ　社会人特別選抜

１．出願資格

入学までに有職経験(※)がおおむね１年以上ある者で、次の(1)から(7)のいずれかに該当するもの

(1)　高等専門学校を卒業した者

(2)　短期大学を卒業した者

(3)　専修学校の専門課程を修了した者のうち、学校教育法第１３２条の規定により大学に編入学することができるもの

(4)　外国において学校教育における１４年の課程を修了した者

(5)　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１４年の課程を修了した者
(6)　我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１４年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
(7)　その他本校の専攻科において高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※　出願資格(4)～(7)で出願しようとする者は、出願資格等の確認をしますので、４月２３日（木）までに入試係又は教務係へ電話等により照会してください。
※　有職経験には、常勤・非常勤の別はありません。ただし、主たる身分が学生の場合、アルバイト等は有職経験には含みません。なお、有職経験のない者の出願は受け付けません。

２．出願期間及び提出先

(1)　受付期間　令和２年５月７日（木）から令和２年５月１３日（水）
(2)　受付時間　９時から１６時まで
(3)　提 出 先　**≪ 情報電子システム工学専攻 ≫**
仙台高等専門学校広瀬キャンパス　学務課入試係
〒 989-3128 仙台市青葉区愛子中央四丁目１６番１号

≪ 生産システムデザイン工学専攻 ≫
仙台高等専門学校名取キャンパス　学生課教務係
〒 981-1239　名取市愛島塩手字野田山４８番地

※　専攻により提出先が異なりますので注意してください。

３．出願書類等及び出願手続

(1)　出願手続は、次の書類等を整え、入試係又は教務係へ提出してください。
③、⑤、⑥及び⑧の本校所定の様式は、本校ホームページからダウンロードできます。

出願書類等	摘　　要
①　入学願書	本校所定の様式に必要事項を記入してください。
②　写真票・受検票	本校所定の様式に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼付してください。（写真は縦４㎝×横３㎝、出願の３か月以内に撮影した、上半身、脱帽、正面向きのもの）
③　受検承諾書	本校所定の様式を使用し、勤務先の所属長が作成したもの。ただし、在職のまま入学する者に限る。（社印等のあるもの）
④　在職証明書	在職期間、職務内容、身分を記載し所属長の発行したもの。（様式任意、社印等のあるもの）
⑤　入学志願者自己調書	本校所定の様式を使用し、出願者自身が作成したもの。
⑥　調査書	本校所定の様式を使用し、出身学校長が作成し厳封したもの。 なお、高等学校から高等専門学校に編入学した者については、出身高等学校の調査書も併せて添付してください。 （※調査書には、成績証明書を添付する必要があります。）

⑦ 検 定 料	１６，５００円 本校所定の振込依頼書に必要事項を記入の上、金融機関の窓口にて振り込んでください。振込後、「検定料振込済証明書」を「検定料振込済証明書貼付票」に貼付してください。ＡＴＭは証明書が発行されないため使用できません。 ただし、ゆうちょ銀行をご利用の場合は、本校所定の振込依頼書を使用することができませんので、２４ページの「検定料を郵便局(ゆうちょ銀行)から振り込む場合の注意点」を参照してください。 また、ゆうちょ銀行から振り込む場合は、「振込依頼書（兼振替払出請求書〔電信扱い〕（お客さま控 ）」を「検定料振込済証明書貼付箇所」に貼らずに提出してください。 なお、納付済の検定料は、理由のいかんにかかわらず返還しません。ただし、次の場合は検定料を返還しますので、入試係又は教務係までお問い合わせください。 ・検定料を納付したが出願しなかった又は出願が受理されなかった場合 ・検定料を誤って二重に納付した場合
⑧ 宛 名 票	本校所定の様式に志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。
⑨ 返信用封筒（受検票送付用）	長形３号の封筒に志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入し、３７４円分（定形・速達）の切手を貼付してください。
⑩ そ の 他	外国籍を有する志願者は、市区町村長の発行する住民票の写し（又は住民票記載事項証明書　＊全事項が証明されているもの）を提出してください。

(2) 出願及び受検上の注意事項

① 郵送での出願は、必ず**「簡易書留郵便」**とし、封筒の表に**「専攻科出願書類在中」**と朱書きし、**５月１３日（水）１６時まで**入試係又は教務係へ到着するようにしてください。

② 受検票は、入学願書の受付後発送します。５月１８日（月）まで受検票が未着の場合は、入試係又は教務係に問い合わせてください。また、検査当日は、必ず受検票を携行してください。

③ 出願書類に不備のあるものは受理できません。また、出願書類提出後は、記載事項の変更は認めません。ただし、現住所（連絡先）に変更が生じた場合は、速やかに入試係又は教務係に申し出てください。

④ 出願書類に虚偽の記載事項があった場合は、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。また、受理した出願書類等は返還しません。

⑤ 身体等に障がいがある者で、受検上及び修学上特別な配慮を要すると思われる場合は、４月２３日（木）までに入試係又は教務係へ連絡してください。

４．選抜の方法

社会人特別選抜は、出身学校長から提出された調査書、入学志願者自己調書、小論文検査及び面接の結果を総合判定して行います。

(1) 検査日　令和２年５月２１日（木）１０時から

(2) 受検地　情報電子システム工学専攻　→　仙台高等専門学校広瀬キャンパス
　　生産システムデザイン工学専攻　→　仙台高等専門学校名取キャンパス

※ 集合時間･場所等の詳細については、別途お知らせします。

５．合格者の発表

令和２年５月２９日（金）１５時（予定）に合格者の受検番号を受検したキャンパスに掲示するほか、合格者に「合格通知書」を送付します。

また、同時刻以降に本校ホームページ（https://www.sendai-nct.ac.jp/）に掲載します。

電話・ファックス等による合否の照会には一切応じません。

６．入学意思確認書の提出

社会人選抜に合格した者は、入学意思の確認のため令和２年６月４日（木）までに「入学意思確認書」を提出してください。入学意思確認書を提出しない者は、本校に入学の意思がないものとして取り扱います。

Ⅶ　学力検査による入学者の選抜

１．出願資格

⑴　高等専門学校を卒業した者及び令和３年３月卒業見込みの者

⑵　短期大学を卒業した者及び令和３年３月卒業見込みの者

⑶　専修学校の専門課程を修了した者（令和３年３月修了見込みの者を含む）のうち、学校教育法第１３２条の規定により大学に編入学することができるもの

⑷　外国において学校教育における１４年の課程を修了した者及び令和３年３月までに修了見込みの者

⑸　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１４年の課程を修了した者及び令和３年３月までに修了見込みの者

⑹　我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１４年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和３年３月までに修了見込みの者

⑺　その他本校の専攻科において高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※　出願資格⑷～⑺で出願しようとする者は、出願資格等の確認をしますので、５月２５日（月）までに入試係又は教務係まで電話等により照会してください。

２．出願期間及び提出先

⑴　受付期間　令和２年５月２９日（金）から令和２年６月４日（木）

⑵　受付時間　９時から１６時まで

⑶　提 出 先　≪ 情報電子システム工学専攻 ≫

仙台高等専門学校広瀬キャンパス　学務課入試係

〒 989-3128 仙台市青葉区愛子中央四丁目１６番１号

≪ 生産システムデザイン工学専攻 ≫

仙台高等専門学校名取キャンパス　学生課教務係

〒 981-1239　名取市愛島塩手字野田山４８番地

※　専攻により提出先が異なりますので注意してください。

３．出願書類等及び出願手続

⑴　出願手続は、次の書類等を整え、入試係又は教務係に提出してください。

③及び⑥の本校所定の様式は、本校ホームページからダウンロードできます。

出 願 書 類 等	摘　　要
① 入 学 願 書	本校所定の様式に必要事項を記入してください。
② 写 真 票 ・受 検 票	本校所定の様式に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼付してください。 （写真は縦４㎝×横３㎝、出願の３か月以内に撮影した、上半身、脱帽、正面向きのもの）

③ 調 査 書	本校所定の様式を使用し、在籍又は出身学校長が作成し厳封したもの。 ※ 調査書には、成績証明書を添付する必要があります。 ※ 出願資格(1)、(3)、(4)、(5)により出願する者は、それぞれ下記の書類を提出してください。 ・ 出願資格(1)により出願する者で、高等学校から高等専門学校に編入学した者については、出身高等学校の調査書も添付してください。 ・ 出願資格(3)により出願する者は、次の証明書等を併せて提出してください。 ① 専修学校が発行する修業年限２年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が１，７００時間以上の専門課程を修了したこと、又は修了見込みであることを証明する証明書 ② 専修学校の専門課程の学科の分野や履修内容が確認できる書類 ・ 出願資格(4)、(5)により出願する者は、出願資格に係る最終学校の成績証明書をもって代えます。修了証明書等があるときは当該書類も添付してください。
④ ＴＯＥＩＣ ス コ ア	ＴＯＥＩＣ（ＴＯＥＩＣ ＩＰ含む）の公式認定証又はスコアレポートの原本を提出してください（コピーは不可）。原本は確認後、返却します。
⑤ 検 定 料	１６，５００円 本校所定の振込依頼書に必要事項を記入の上、金融機関の窓口にて振り込んでください。振込後、「検定料振込済証明書」を「検定料振込済証明書貼付票」に貼付してください。ＡＴＭは証明書が発行されないため使用できません。 ただし、ゆうちょ銀行をご利用の場合は、本校所定の振込依頼書を使用することができませんので、２４ページの「検定料を郵便局(ゆうちょ銀行)から振り込む場合の注意点」を参照してください。 また、ゆうちょ銀行から振り込む場合は、「振込依頼書（兼振替払出請求書〔電信扱い〕（お客さま控 ）」を「検定料振込済証明書貼付箇所」に貼らずに提出してください。 なお、納付済の検定料は、理由のいかんにかかわらず返還しません。ただし、次の場合は検定料を返還しますので、入試係又は教務係までお問い合わせください。 ・検定料を納付したが出願しなかった又は出願が受理されなかった場合 ・検定料を誤って二重に納付した場合
⑥ 宛 名 票	本校所定の様式に志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。
⑦ 返信用封筒（受検票送付用）	長形３号の封筒に志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入し、３７４円分（定形・速達）の切手を貼付してください。ただし、出願時に願書を持参し、後日受検票を直接受け取る場合は不要です。
⑧ そ の 他	外国籍を有する志願者は、市区町村長の発行する住民票の写し（又は住民票記載事項証明書 ＊全事項が証明されているもの）を提出してください。

(2) 出願及び受検上の留意事項

① 郵送での出願は、必ず**「簡易書留郵便」**とし、封筒の表に**「専攻科出願書類在中」**と朱書きし、**６月４日（木）１６時まで**入試係又は教務係へ到着するようにしてください。

② 受検票は、入学願書の受付後発送します。６月９日（火）まで受検票が未着の場合は、入試係又は教務係に問い合わせてください。また、検査当日は、必ず受検票を携行してください。

③ 出願書類に不備のあるものは受理できません。また、出願書類提出後は、記載事項の変更は認めません。ただし、現住所（連絡先）に変更が生じた場合は、速やかに入試係又は教務係に申し出てください。

④　出願書類に虚偽の記載事項があった場合は、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。また、受理した出願書類等は返還しません。

⑤　身体等に障がいがある者で、受検上及び修学上特別な配慮を要すると思われる場合は、５月１５日（金）までに入試係又は教務係へ連絡してください。

４．選抜の方法

学力検査による入学者選抜は、在籍又は出身学校長から提出された調査書、学力検査の結果、面接の結果の内容等を総合判定して行います。

⑴　検査日　令和２年６月１２日（金）

⑵　受検地　情報電子システム工学専攻　→　仙台高等専門学校広瀬キャンパス
　　生産システムデザイン工学専攻　→　仙台高等専門学校名取キャンパス

※　集合時間･場所等の詳細については、別途お知らせします。

⑶　出題科目

英　語	ＴＯＥＩＣ（ＴＯＥＩＣ ＩＰ含む）のスコアを利用
専門科目	**【情報電子システム工学専攻（広瀬キャンパス）】** （１）電気回路 ・直流回路 ・交流回路 ・過渡現象（ＲＣ回路、ＲＬ回路） （２）電磁気学 ・静 電 気 ・磁　　気 （３）情報基礎 ・基礎理論（２進数、基数、数値表現、演算精度、集合、ベン図、論理演算、命題） ・アルゴリズムとプログラム （データ構造、アルゴリズム、Ｃ言語を用いたプログラム）
	【生産システムデザイン工学専攻（名取キャンパス）】 生産システム工学コースは、次の３群から１つの群を選択 Ⅰ群：「材料力学」、「流体力学」、「熱力学」の３科目から２科目を選択 Ⅱ群：「電磁気学」、「電気回路」の２科目 Ⅲ群：「材料化学（物理化学、有機化学）」、「材料強度学（材料組織学、材料力学）」、「材料物性学（材料物性）」の３科目から２科目を選択

専門科目	建築デザイン学コースは、「建築デザイン学A（建築計画〔都市計画、建築史、人間工学を含む〕、建築材料）」、「建築デザイン学B（建築環境工学、構造力学）」の２科目 ※　両コースともに電卓を使用する計算問題を出題することがあります。使用する電卓は、本校で貸与します。
数　　学	**【情報電子システム工学専攻（広瀬キャンパス）】** 基礎数学・微分積分・代数幾何・微分方程式・フーリエ解析
	【生産システムデザイン工学専攻（名取キャンパス）】 「基礎数学・微分積分・代数幾何」に加えて「微分方程式とフーリエ解析から選択」

(4)　学力検査・面接の時間

科　目　等	情報電子システム工学専攻	生産システムデザイン工学専攻
専 門 科 目	９：００　～　１０：３０	１０：００　～　１２：００
数　　学	１０：５０　～　１２：２０	１３：００　～　１４：３０
面　　接	１３：２０　～	１４：５０　～

５．合格者の発表

令和２年６月２５日（木）１５時（予定）に合格者の受検番号を受検したキャンパスに掲示するほか、合格者に「合格通知書」を送付します。

また、同時刻以降に本校ホームページ（https://www.sendai-nct.ac.jp/）に掲載します。

電話・ファックス等による合否の照会には一切応じません。

６．入学意思確認書の提出

学力選抜に合格した者は、入学意思の確認のため、令和２年９月２５日（金）までに「入学意思確認書」を提出してください。入学意思確認書を提出しない者は、本校に入学の意思がないものとして取り扱います。

Ⅷ　入学手続及び諸経費

(1)　入学手続期間：令和３年３月１１日（木）・１２日（金）（予定）

合格者に別途通知します。

(2)　提出書類：合格者に別途通知します。

(3)　入学手続時に納入する経費

・入学料　８４，６００円

・国立高等専門学校学生傷害保険制度掛金　４，３７７円（２年間分）

(4)　授業料　２３４，６００円（年額）

前期分（４月～９月）及び後期分（１０月～３月）の授業料各１１７，３００円は、前期は４月に、後期は１０月に金融機関口座から自動引き落としとなります。

※　上記の経費等の金額は、関係規則の改正により改定されることがあります。

「大学等における修学の支援に関する法律」の公布・施行により、令和２年度以降、大学等の高等教育機関に入学する学生を対象として日本学生支援機構の給付型奨学金の支給や、授業料及び入学料の減免措置が行われます。

本校はこれらの支援を行う対象機関として認定されました。追って、新制度の詳細をお知らせしますが、実施に伴い下記の入学料及び授業料免除の内容が変更となる場合がありますので、今後本校ウェブサイト等でお知らせします。

≪ 入学料・授業料免除 ≫

(1) 入学料の免除

入学前１年以内において、入学する者の学資を主として負担している者が死亡したり、災害を受けたことにより、経済的に入学料の納付が著しく困難であると認められる場合には、本人の願い出により選考の上、入学料の全額又は半額を免除することがあります。

(2) 授業料の免除

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認めた者、又は風水害等による災害を受け、納付が困難と認められる者には、本人の願い出により選考の上、授業料の全額又は半額を免除することがあります。

≪ 奨学金制度 ≫

日本学生支援機構の規定に基づき、学業・人物共に優れ、かつ健康であって学資の支弁が困難と認められる者に対して、本人の申請に基づき、選考の上、日本学生支援機構から奨学金が貸与される制度があります。

Ⅸ　長期履修学生制度

本専攻では、職業等を有している等の事情によって、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することを願い出た者については、審査の上許可することがあります。この制度の適用者は「長期履修学生」といい、当該学生の授業料支払総額は、標準修業年限による修了者と同じです。詳細については下記へ問い合わせてください。

≪ 情報電子システム工学専攻 ≫

広瀬キャンパス学務課学務係（TEL ０２２－３９１－５５３７）

≪ 生産システムデザイン工学専攻 ≫

名取キャンパス学生課教務係（TEL ０２２－３８１－０２６５）

Ⅹ　個人情報に関する取扱いについて

志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた検査成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として使用するとともに、次の目的のためにのみ利用します。

(1)　入学後の教育・指導

(2)　入学料、授業料の免除申請の審査
(3)　奨学金申請の審査
(4)　本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究
(5)　学生証の作成

Ⅺ　入試情報の開示について

入学試験成績の開示請求については、本校総務課情報企画係(TEL　０２２－３９１－５５１３)に問い合わせてください。

Ⅻ　その他

(1)　受検のための宿泊の斡旋は行っていません。
(2)　出願等に関し不明な点があるときは、下記まで電話又は書面で問い合わせてください。

≪ 情報電子システム工学専攻 ≫

仙台高等専門学校　広瀬キャンパス　学務課入試係
TEL　０２２－３９１－５５４２
〒 989-3128　仙台市青葉区愛子中央四丁目１６番１号

≪ 生産システムデザイン工学専攻 ≫

仙台高等専門学校　名取キャンパス　学生課教務係
TEL　０２２－３８１－０２５４
〒 981-1239　名取市愛島塩手字野田山４８番地

入　学　案　内

情報電子システム工学専攻

１．目的

専攻科は、高等専門学校における教育の基礎の上に、精深な程度において工業に関する高度な専門的知識及び技術を教授研究し、もって広く産業の発展に寄与する人材を育成することを目的としています。

情報電子システム工学専攻は、最先端の情報・電子製品を構成している情報・電子システム及びその融合技術に精通し、人間・社会・環境等に優しい技術開発に関与できる高度なエンジニアリングデザインの能力を身に付けた、ものづくり日本の伝統を承継できる国際的に通用する技術者の養成を目指しています。

２．情報電子システム工学専攻の修業年限及び修了要件

⑴　修業年限　２年

⑵　修了要件　専攻科に２年以上在学し、当該専攻で開設されている全ての必修科目の単位数を含め６２単位以上（一般科目１０単位以上、専門科目５２単位以上）を修得すること。

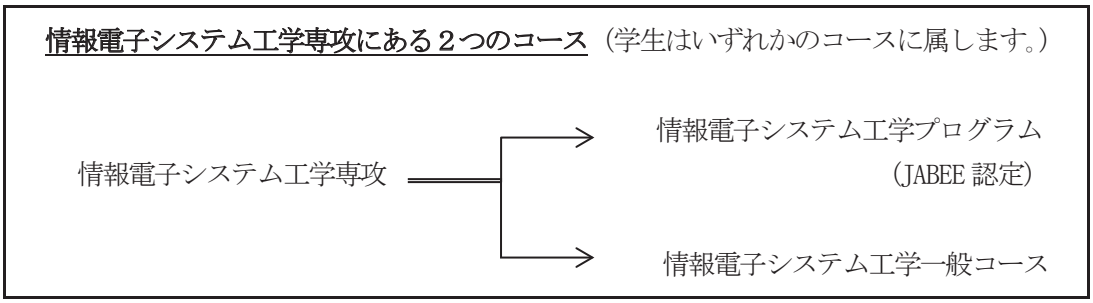
情報電子システム工学プログラムの場合は、５の「情報電子システム工学プログラムについて」の項を参照してください。

３．情報電子システム工学専攻の特色

本専攻には、日本技術者教育認定機構（JABEE）の認定を受けたコース（情報電子システム工学プログラム）と、認定を受けていないコース（情報電子システム工学一般コース）とがあります。

どちらのコースでも、大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を得ることが可能です。認定を受けていないコースの修了要件は、情報電子システム工学専攻の修了要件と同じです。認定を受けたコースの登録要件と修了要件は、５の「情報電子システム工学プログラムについて」の項で明記します。

なお、各コースへの所属は、本人の希望により、１年次の４月中に決定しますが、その後のコース変更は原則として認められません。



４．学位（学士）の取得方法

大学改革支援・学位授与機構の認定を受けた高等専門学校の専攻科で２年以上にわたって６２単位以上を修得し、同機構の審査に合格した者は学士の学位を取得できます。

本専攻は同機構の特例適用認定を受けており、修了時に所定の要件を満たすことで学士の学位を取得することができます。

学位の申請には審査手数料として３２，０００円が必要となります。

なお、本校以外の教育機関からの入学や、本校準学士課程卒業後、期間を置いて入学する場合は、特例適用による学位申請が行えない場合がありますので、出願前に本校広瀬キャンパス学務課までご相談ください。

５．情報電子システム工学プログラムについて

（1）プログラムの概要

準学士課程４年次から専攻科２年次までの４年間は、「情報電子システム工学プログラム」に基づいた教育が行われます。

本教育プログラムは2002年度のJABEE（Japan Accreditation Board for Engineering Education：日本技術者教育認定機構）の認定を受け、４年制大学の教育内容が保証されるとともに、国際化に対応したものとして高い評価を得ているものです。

プログラム修了生は次のような資格を得ることができます。

(1)　技術士第１次試験を免除されて直接「修習技術者」となる。

(2)　将来、規定された条件の下での実務経験を経て、最短４年で技術士の受験資格が得られる。

〔育成する技術者像〕

「１．目的」と同じ。

〔プログラムの学習・教育到達目標〕

情報電子システム工学プログラムでは、以下の５点を学習・教育到達目標としています。

（A）実践技術者としての高度でかつ幅広い基本的能力・素養

(A-1) 数学・自然科学・情報技術に関する知識の習得とそれらを応用する能力

(A-2) 当該分野において必要とされる専門知識とそれらを応用する能力

(A-3) 自主的，継続的に学習する能力

（B）融合複合領域におけるエンジニアリングデザイン能力

(B-1) 種々の科学，技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力

(B-2) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め，まとめる能力

（C）国際的に通用するコミュニケーション能力

(C-1) 英語による表現能力と国際性の獲得：「専攻英語Ⅰ」「専攻英語Ⅱ」

(C-2) 専門分野に関する表現能力：「専攻研究Ⅰ」「専攻研究Ⅱ」

（D）社会的要請を考えて研究・開発する能力

(D-1) 物事を幅広い視点から考えることができ，偏らない判断のできるエンジニア

(D-2) 技術の発展が社会や環境に及ぼす効果や影響を，把握・評価できるような，技術者倫理をしっかり身につけたエンジニア

（E）高度な実践的技術者に求められるチームワーク力，リーダーシップ力，企画調整力

（JABEE 認定基準　基準 1.2 の知識・能力観点）

(a)　地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養

(b)　技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者が社会に対する貢献と責任に関する理解

(c)　数学、自然科学及び情報技術に関する知識とそれらを応用する能力

(d)　当該分野において必要とされる専門的知識とそれらを応用する能力

(e)　種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力

(f)　論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力

(g)　自主的、継続的に学習する能力

(h)　与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力

(i)　チームで仕事をするための能力

各学習・教育到達目標 〔A～E〕が基準 1.2 の知識・能力観点(a)～(i)を主体的に含んでいる場合には◎印を、付随的に含んでいる場合には○印を記入しています。

基準1.2の知識・能力観点 ＼ 学習・教育目標	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)	(g)	(h)	(i)
A－1			◎						
A－2				◎					
A－3							◎		
B－1					◎				
B－2								◎	
C－1	○					◎			
C－2						◎			
D－1	◎								
D－2		◎							
E									◎

さらに、このプログラムの修了には、大学改革支援・学位授与機構より学士の学位を得ることも、その必要な条件となっています。なお、大学改革支援・学位授与機構の審査に合格することにより「学士（工学）」の学位を取得し、大学卒業と同等となるとともに、大学院の受験資格を得られます。

〔プログラム登録者の決定方法〕

高専の４年、５年において、以下に示す科目を６０点以上で修得していることが必要条件です。

技術者倫理に関する科目：１単位以上
数学（応用数学など）に関する科目：２単位以上
自然科学に関する科目：４単位以上
情報処理に関する科目：１単位以上
専門基礎（電磁気学、電気／電子回路など）に関する科目：４単位以上
工学実験（創造的製作を含む）に関する科目：５単位以上（卒業研究を含めてもよい）

ただし、本校広瀬キャンパスの準学士課程を卒業した学生については、添付の「学習・教育到達目標とプログラム対応科目」の表に上げられている科目とします（これは上記の条件を満足しています)。

また、カリキュラム上、やむを得ない理由で上記科目の履修ができなかった学生は、専攻科在籍中に授業時間割上可能な範囲で、専攻科修了要件には含まれない自由聴講科目として履修することができます。

なお、専攻科入学後、条件を満たしている学生について、その意志を確認してプログラム登録者とします。

（２）「情報電子システム工学プログラム」修了要件

⑴ 高専の４年、５年の課程において、指定の科目を６０点以上で修得していること。
⑵ 学習・教育到達目標とプログラム対応科目の表に指定されている条件を満たした上で、専攻科の修了要件も満足すること。
⑶ 専攻英語Ⅰ・Ⅱの単位を修得していること。
⑷ 大学改革支援・学位授与機構より、学士の学位を受けること。

２０２１年度入学者用

学習・教育到達目標とプログラム対応科目

プログラムの学習・教育到達目標	情報電子システム工学専攻				知能エレクトロニクス工学科				情報システム工学科				情報ネットワーク工学科			
JABEE認定基準の知識・能力観点	科　目　名	学年	単位	特記	科　目　名	学年	単位	特記	科　目　名	学年	単位	特記	科　目　名	学年	単位	特記
(A)実践技術者としての高度にかつ幅広い基本的能力・素養																
(c)数学・自然科学及び情報技術に関する知識とそれらを応用する能力	工業数学	1	2		応用数学	4	2	*1	線形代数	4	2	*1	複素関数論	4	2	*1
	情報論理学	1	2	*4	フーリエ解析	4	2	*1	複素関数論	4	2	*1	フーリエ解析	4	2	*1
	物理化学	1	2	*4	生物学	5	2	*2	フーリエ解析	4	2	*1	生物学	5	2	*2
	データ解析	1	2		地学	5	2	*2	情報数学	4	2	*1	地学	5	2	*2
					化学特論	4	2	*2	生物学	5	2	*2	化学特論	4	2	*2
					マイクロコンピュータⅠ	4	1		地学	5	2	*2	ネットワークプログラミング	4	2	
									化学特論	4	2	*2				
									組込みシステム実習	4	1					
(d)当該分野において必要とされる専門知識とそれらを応用する能力	エレクトロニクス論	1	2	*3	電磁気学A	4	2	*3	アナログ電子回路Ⅱ	4	1	*3	電磁波工学Ⅰ	4	2	*3
	知能ロボティクス論	1	2	*3	電磁気学B	4	2	*3	ソフトウェア工学基礎	4	2	*3	電磁波工学Ⅱ	5	2	*3
	コミュニケーション論	1	2	*3	電子回路A	4	2	*3	応用プログラミングA	4	1	*3	電子回路	4	2	*3
	ソフトウェア論	1	2	*3	電子回路B	4	2	*3	組込みシステムA	4	2	*3	高周波回路	4	1	*3
	情報社会学特論	1	2	*3	回路工学	4	2	*3	情報通信ネットワーク	4	2	*3	ネットワーキング技術Ⅰ	4	2	*3
	組込みシステム設計	1	2	*3	制御工学	4	2	*3	電磁気学	4	2	*3	ネットワーキング技術Ⅱ	4	2	*3
	ディジタル信号処理	1	2	*3					応用プログラミングB	4	1	*3				
	物質の構造と性質	2	2	*3					ネットワーキングⅠ	5	2	*3				
	パワーエレクトロニクス	2	2	*3					ネットワーキングⅡ	5	2	*3				
	応用電磁気学	1	2	*3												
	波動伝送工学	2	2	*3												
	デバイス工学	2	2	*3												
	計算機アーキテクチャ	2	2	*3												
	ソフトウェア工学	2	2	*3												
	知識工学	2	2	*3												
	画像処理論	1	2	*3												
	インターネットアーキテクチャ	2	2	*3												
(g)自主的，継続的に学習する能力	専攻研究Ⅰ	1	6													
	専攻研究Ⅱ	2	8													
(B)融合複合領域におけるエンジニアリングデザイン能力																
(e)種々の科学，技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力	専攻実習	1	6	*5	知能エレクトロニクス実験Ⅰ	4	3		情報システム実験Ⅰ	4	5		情報ネットワーク実験Ⅰ	4	3	
	インターンシップA	1	3~6	*5	知能エレクトロニクス実験Ⅱ	5	4		情報システム実験Ⅱ	5	2		情報ネットワーク実験Ⅱ	5	3	
	インターンシップB	1	7~12	*5												
(h)与えられた制約の下で計画的に仕事を進め，まとめる能力	専攻研究Ⅰ	1	6		知能エレクトロニクス実験Ⅰ	4	3		情報システム実験Ⅰ	4	5		情報ネットワーク実験Ⅰ	4	3	
	専攻研究Ⅱ	2	8		知能エレクトロニクス実験Ⅱ	5	4		情報システム実験Ⅱ	5	2		情報ネットワーク実験Ⅱ	5	3	
(C)国際的に通用するコミュニケーション能力																
(a)地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養	専攻英語Ⅰ	1	2													
	専攻英語Ⅱ	2	2													
(f)論理的な記述力，口頭発表力，討議等のコミュニケーション能力	専攻英語Ⅰ	1	2													
	専攻英語Ⅱ	2	2													
	専攻研究Ⅰ	1	6													
	専攻研究Ⅱ	2	8													
(D)社会的責任を考えて研究・開発する能力																
(a)地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養	思想史	2	2		技術者倫理	5	2		技術者倫理	5	2		技術者倫理	5	2	
	社会経済学	1	2													
(b)技術が社会や自然に及ぼす影響や効果，及び技術者の社会に対する貢献と責任に関する理解	思想史	2	2		技術者倫理	5	2		技術者倫理	5	2		技術者倫理	5	2	
	情報社会学特論	1	2													
	企業社会学	1	2													
(E)高度な実践的技術者に求められるチームワーク力，リーダーシップ力，企画調整力																
(i)チームで仕事をするための能力	知能ロボティクス論	1	2													
	組込みシステム設計	1	2													

（特記）

*1　うち，2単位以上履修のこと　　*3　群選択（30単位以上履修のこと）　　*5　うち，3単位以上履修のこと

*2　うち，4単位以上履修のこと　　*4　うち，2単位以上履修のこと　　空欄　単独でプログラム対応科目（JABEEでは必ず履修）

６．修了後の進路

平成５年度に専攻科設置後、６９１名が修了しており、平成２８年度以降の修了後の進路は次のとおりです。

平成３０年度修了生

就　職　先
㈱アウトソーシングテクノロジー、ＡＭＥＣコンサルタンツ㈱、ＮＥＣネッツエスアイ㈱、クローク㈱、ＫＤＤＩ㈱、コスモリサーチ㈱、㈱スピーディア、(独)国立高等専門学校機構仙台高等専門学校、ソーバル㈱、㈱ソシオネクスト、ソフトバンク㈱、TDCソフト㈱、テラテクノロジー㈱、㈱日本デジタル研究所、日本電産㈱、日本電設工業㈱東日本旅客鉄道㈱、㈱日立ハイテクフィールディング、ホーチキ㈱、㈱山本製作所
進　学　先
東北大学大学院工学研究科、東北大学大学院理学研究科、東北大学大学院情報科学研究科、豊橋技術科学大学大学院工学研究科、北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科

平成２９年度修了生

就　職　先
㈱アトラエ、ＮＥＣ、㈱ファインデックス、東海旅客鉄道㈱、六興電気㈱東北支店、富士アイティ、新東電算㈱、㈱やまや、京セラコミュニケーションズ、メンバーズ、パイオニアシステムテクノロジー、日立ソリューションズ東日本、㈱アイ・エム・ジェイ、本田技研工業、ソフトバンク、東北管区警察局、ＮＴＴコミュニケーションズ、三菱電機待機システム、ＫＤＤＩ㈱、ブロードバンドタワー、ソフトブレーン㈱、東京エレクトロンＦＤ
進　学　先
東北大学大学院工学研究科、東北大学大学院情報科学研究科、電気通信大学大学院、名古屋大学大学院

平成２８年度修了生

就　職　先
㈱アルプス技研、ＮＥＣネッツエスアイ㈱、ＣＴＣテクノロジー㈱、ソニーグローバルマニュファクチャリング＆オペレーションズ㈱、ソニーデジタルネットワークアプリケーションズ㈱、ソフトバンク㈱、チームラボ㈱、新潟トランシス㈱、日新製薬㈱、パナソニック　システムネットワークス㈱　システムソリューションズカンパニー、日立交通テクノロジー㈱、㈱百戦錬磨、三菱電機㈱、㈱メンバーズ、横河レンタ・リース㈱、㈱ワークスアプリケーションズ
進　学　先
東北大学大学院工学研究科、東北大学大学院情報科学研究科、東北大学大学院教育情報学教育部

生産システムデザイン工学専攻

１．目的

専攻科は、高等専門学校における教育の基礎の上に、精深な程度において工業に関する高度な専門的知識及び技術を教授研究し、もって広く産業の発展に寄与する人材を育成することを目的としています。生産システムデザイン工学専攻は、持続可能な社会の実現に資する、分野にとらわれない技術の複合・融合化や、全ての工程を見通した総合的な技術革新に携わることのできる、高度なエンジニアリングデザイン能力を身に付けた、国際的に通用する技術者の養成を目指しています。

２．生産システムデザイン工学専攻の修業年限及び修了要件

⑴　修業年限　２年

⑵　修了要件　専攻科に２年以上在学し、学則に定める授業科目を履修し、一般科目８単位以上、専門科目５４単位以上、計６２単位以上を修得すること。

３．生産システムデザイン工学専攻の特色

仙台高等専門学校専攻科生産システムデザイン工学専攻は次の２コースから構成され、その教育はコース毎に行われます。

⑴ 生産システム工学コース

⑵ 建築デザイン学コース

コースへの配属は各自の希望に基づき、決定されます。

各コースの教育方針は以下のとおりです。

（1）生産システム工学コース

人間と環境との調和を重視し、複数領域の技術を融合して社会が必要とする新技術の開発と高度な生産システムを構築・発展させることができる技術者を養成する。コースでは、準学士課程で習得した機械工学系、電気工学系、材料工学系の専門の基礎の上に、更に高度な専門技術を学ぶとともに、一般科目及び専門基礎科目として多面的に展開する科目群を配置することにより、積極的に他分野の技術も学習する。これらの技術を、指導教員の下で研究を行う専攻研究、企業等でのインターンシップ、複合的なテーマの広範な実験・実習等を通して研鑽し、人間と環境との調和を重視する複眼的視野の下に応用、展開できる能力を身に付けさせる。

対応する準学士課程学科：機械工学、電気工学、電子工学、材料工学、化学工学など

大学改革支援・学位授与機構の審査における専攻の区分
：機械工学、電気電子工学、情報工学、材料工学

（2）建築デザイン学コース

建築学、デザイン学、人間科学に加えて、幅広い工学基礎をも包含した科目群を総合的に学び、将来明るく幸せな暮らしができる住まいから都市まで、将来質の高い住空間、社会環境のデザイン全般に携わる責任感のある公平公正な人材を育成する。コースでは、準学士課程５年間で学ぶ建築設計、建築計画、建築環境工学、建築構造、デザイン学、人間科学に立脚し、建築関連科目に関しては、それぞれの問題解決能力を高めるための科目を配置し、デザイン学、人間科学に関しては、その建築への応用を目指した科目を配置する。さらに、幅広い工学基礎科目を加えた教育課程編成とすることにより、これらを応用できる総合力を習得させる。

（対応する準学士課程学科：建築学、土木工学、建設工学など
大学改革支援・学位授与機構の審査における専攻の区分：建築学）

４．学位（学士）の取得方法

大学改革支援・学位授与機構の認定を受けた高等専門学校の専攻科で２年以上にわたって６２単位以上を修得し、同機構の審査に合格した者は学士の学位を取得できます。

本専攻は同機構の特例適用認定を受けており、修了時に所定の要件を満たすことで学士の学位を取得することができます。

学位の申請には、審査手数料として３２，０００円が必要となります。

なお、本校以外の教育機関からの入学や、本校準学士課程卒業後、期間を置いて入学する場合は、特例適用による学位申請が行えない場合がありますので、出願前に本校名取キャンパス学生課までご相談ください。

５．「生産システムデザイン工学」教育プログラムについて

（1）プログラムの概要

準学士課程４年次から専攻科２年次までの４年間は、「生産システムデザイン工学」教育プログラムに基づいた教育が行われます。

本教育プログラムは2002年度のJABEE（Japan Accreditation Board for Engineering Education：日本技術者教育認定機構）の認定を受け、４年制大学の教育内容が保証されるとともに、国際化に対応したものとして高い評価を得ているものです。

プログラム修了生は次のような資格を得ることができます。

(1)　技術士第１次試験を免除されて直接「修習技術者」となる。
(2)　将来、規定された条件の下での実務経験を経て、最短４年で技術士の受験資格が得られる。

「生産システムデザイン工学」教育プログラムは、以下に掲げる項目を学習・教育到達目標としています。

(A)：「数学、自然科学、情報技術に関する能力」

産業の様々な要求に応える数学、自然科学、情報技術を使いこなし、又は、工業技術に応用できる基礎能力を持った技術者

A-1　数学・自然科学を理解し、使いこなせる基礎能力（(c)自然科学）
A-2　情報技術を理解し、工業技術に応用できる基礎能力（(c)基礎情報技術）

(B)：「歴史・文化、環境、技術者倫理を理解する能力」

歴史や文化の多様性を常に考え、人間を取り巻く環境を重視して、技術が社会と自然に及ぼす影響・効果を理解し、技術者としての責任を自覚する倫理を持った技術者

B-1	歴史や文化を理解できる能力（(a)文化系教養）
B-2	技術が社会と自然に及ぼす影響・効果を理解し、技術者として責任を持って行動できる能力（(b)技術者倫理）

(C)：「日本語・外国語、コミュニケーション基礎能力」

日本語により、記述し、発表・討論する能力、及び、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力を持った技術者

C-1	日本語により、記述・発表・討論する能力（(f)日本語コミュニケーション）
C-2	国際的に通用するコミュニケーション基礎能力（(f)外国語コミュニケーション）

(D)：「設計・企画・デザインする能力」

工業技術システムを理解し、設計・企画・デザインする能力を持った技術者

D-1	専門分野に関する工業技術を理解し、応用する能力（(d)専門の基礎能力）
D-2	専門分野と周辺の工業技術を理解し、デザインに応用展開できる能力（(e)専門のデザイン力）

(E)：「自主的・継続的に創造・開発・解決する能力とチームワーク力」

自主的・継続的に新しい工業技術を学習し、与えられた制約の下で計画的に創造・開発してまとめる基礎能力とチームワーク力を持った技術者

E-1	自主的・継続的に新しい、工業技術を学習する能力（(g)自主性・継続性）
E-2	与えられた制約の下で計画的に、問題解決・開発・創造してまとめる基礎能力とチームワーク力（(h)計画とまとめ力）（(i)チームワーク）

上記文末（a)～(i）の具体的な内容は以下のとおりです。

(a)　地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養
(b)　技術が社会及び自然に及ぼす影響や効果、技術者が社会に対して負っている責任に関する理解(技術者倫理)
(c)　数学、自然科学、情報技術に関する知識とそれらを応用できる能力
(d)　該当する分野の専門技術に関する知識とそれらを問題解決に応用できる能力
(e)　種々の科学・技術・情報を利用して社会の要求を解決するためのデザイン能力
(f)　日本語による論理的な記述力、口頭発表力、討議などのコミュニケーション能力、及び、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力
(g)　自主的・継続的に学習できる能力
(h)　与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力
(i)　チームで仕事をする能力

（2）「生産システムデザイン工学」教育プログラム修了要件

1	学位（学士）取得者
2	生産システムデザイン工学教育プログラムにおいて、１２４単位以上修得者。
3	数学の分野に関しては、「微分積分学、線形代数、微分方程式、確率と統計、数値解析、応用数学などに関連する科目群」の中の６群から４群にわたって、直接関連する科目を４科目以上修得すること。
4	物理、化学、生命科学などについては、物理、化学、生命科学（地球物理学、遺伝子工学、環境科学等を含む）の３群について、直接関連する科目を各群から１科目以上、合計３科目以上修得すること。
5	「基礎工学並びに専門工学の知識・能力」の中の各系（「設計・システム系科目群」、「情報・論理系科目群」、「材料・バイオ系科目群」、「力学系科目群」）の各群から１科目以上、合計６科目以上修得すること。
6	「工業技術システムを理解する能力科目群」、「設計・企画・デザインする能力科目群」、「新しい工業技術を創造・開発できる能力科目群」、「工業システムを再構築できる能力科目群」の各群から１科目以上、合計６科目以上修得すること。
7	専攻実験を必ず修得すること。
8	工学の基礎的な知識・技術を統合し、創造性を発揮して課題を探求し、組み立て、解決する能力科目群として、①卒業研究、②専攻研究Ⅰ及び専攻研究Ⅱを修得するとともに、③研究内容の学会などで学外発表をすること。
9	技術者が経験する実務上の問題点と課題を理解し、適切に対応する基礎的な能力科目群として、①創造工学演習、②インターンシップＡ、インターンシップＢ、エンジニアリング実習及び専攻実習から合計４単位以上、①及び②を合わせて８単位以上修得すること。
10	「歴史・文化を理解する能力科目群」の中から２科目以上修得すること。 「社会技術系科目群」の中の「技術者倫理科目群」から２科目以上、「社会・地球環境科目群」から２科目以上修得すること。
11	英語の能力については、Educational Testing Service が行う TOEIC（Test of English for International Communication）で４００点相当以上の能力を備えていること。

※ 本校以外の教育機関から入学する者は、準学士課程相当の科目を本校準学士課程の科目に読み替える必要があり、その結果、プログラム修了要件を満たすことができない場合がありますので、出願前に本校名取キャンパス学生課までご相談ください。

６．修了後の進路

平成１０年度に宮城工業高等専門学校に専攻科設置後、６４６名が修了しており、平成２８年度以降の修了生の進路は次のとおりです。

平成３０年度修了生

就　職　先	
生産システム工学コース	建築デザイン学コース
旭化成(株)、出光興産(株)、(株)ＮＴＴファシリティーズ中央、ＮＯＫ(株)、オリンパス(株)、コスモシステム(株)、サントリーホールディングス(株)、(株)シムネット、常磐共同火力(株)、SUBARU テクノ(株)、セイコーインスツル(株)、仙台市、東京電力(株)、東北電力(株)、日揮(株)、日東紡績(株)、パナソニック(株)アプライアンス社、パナソニック(株)オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社、非破壊検査(株)、三菱電機ビルテクノサービス(株)、(株)宮城ニコンプレシジョン、(株)明電舎、(株)メンバーズ	加和太建設(株)、(有)木の香の家、(株)建築工房零、大東建託(株)、東北電力(株)、(株)福建技術コンサルタント
進　学　先	
生産システム工学コース	建築デザイン学コース
東北大学大学院工学研究科、東北大学大学院環境科学研究科、北陸先端科学技術大学大学院先端科学技術研究科、筑波大学大学院システム情報工学研究科、東京農工大学大学院工学府	東北大学大学院工学研究科

平成２９年度修了生

就　職　先	
生産システム工学コース	建築デザイン学コース
㈱アウトソーシングテクノロジー、アイベックスエアラインズ㈱、㈱インテリジェンスビジネスソリューションズ、ANA ラインメンテナンステクニクス㈱、NEC フィールディング㈱、㈱エイアンドティー、花王㈱、㈱ケーヒン、㈱小松製作所、サントリーホールディングス㈱、JXTG ホールディングス㈱（東燃ゼネラル石油）、JX 金属㈱、㈱ジーテクト、ソニーストレージメディアマニュファクチャリング㈱、東北電力㈱、東北パイオニア EG㈱、日本空港テクノ㈱、日本電子㈱、パナソニック㈱アプライアンス社、㈱日立ハイテクフィールディング、フジテック㈱、㈱牧野フライス製作所、メタウォーター㈱	㈱NTT ファシリティーズ東北、㈱オノヤ、仙建工業㈱、㈱関・空間設計、㈱大建設計、大和ハウス工業㈱、坪田塾、東急建設㈱、日本郵政㈱
進　学　先	
生産システム工学コース	建築デザイン学コース
東北大学大学院工学研究科、東北大学大学院情報科学研究科、東北大学大学院環境科学研究科	東北大学大学院工学研究科、長岡技術科学大学大学院工学研究科

平成２８年度修了生

就　職　先	
生産システム工学コース	建築デザイン学コース
ＡＮＡベースメンテナンステクニクス㈱、ＡＮＡラインメンテナンステクニクス㈱、海上自衛隊、㈱コー・ワークス、サントリープロダクツ㈱、仙台市、ソニーストレージメディア・アンド・デバイス㈱、第一精工㈱、中外製薬㈱、東京エレクトロン㈱、東燃ゼネラル石油㈱、東北電力㈱、東北パイオニアＥＧ㈱、東洋エンジニアリング㈱、ナブコシステム㈱、日東紡績㈱、日本精工㈱、福島製鋼㈱、フジテック㈱、㈱真壁技研、メタウォーター㈱、㈱メンバーズ、森永乳業㈱	㈱オープンハウス、㈱鴻池組、㈱東北開発コンサルタント、大東建託㈱、東北電力㈱、㈱ナカノフドー建設、東日本旅客鉄道㈱、㈱福建技術コンサルタント
進　学　先	
生産システム工学コース	建築デザイン学コース
東北大学大学院工学研究科、東北大学大学院情報科学研究科、東北大学大学院環境科学研究科、北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科	東北大学大学院工学研究科、長岡技術科学大学大学院工学研究科

検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点

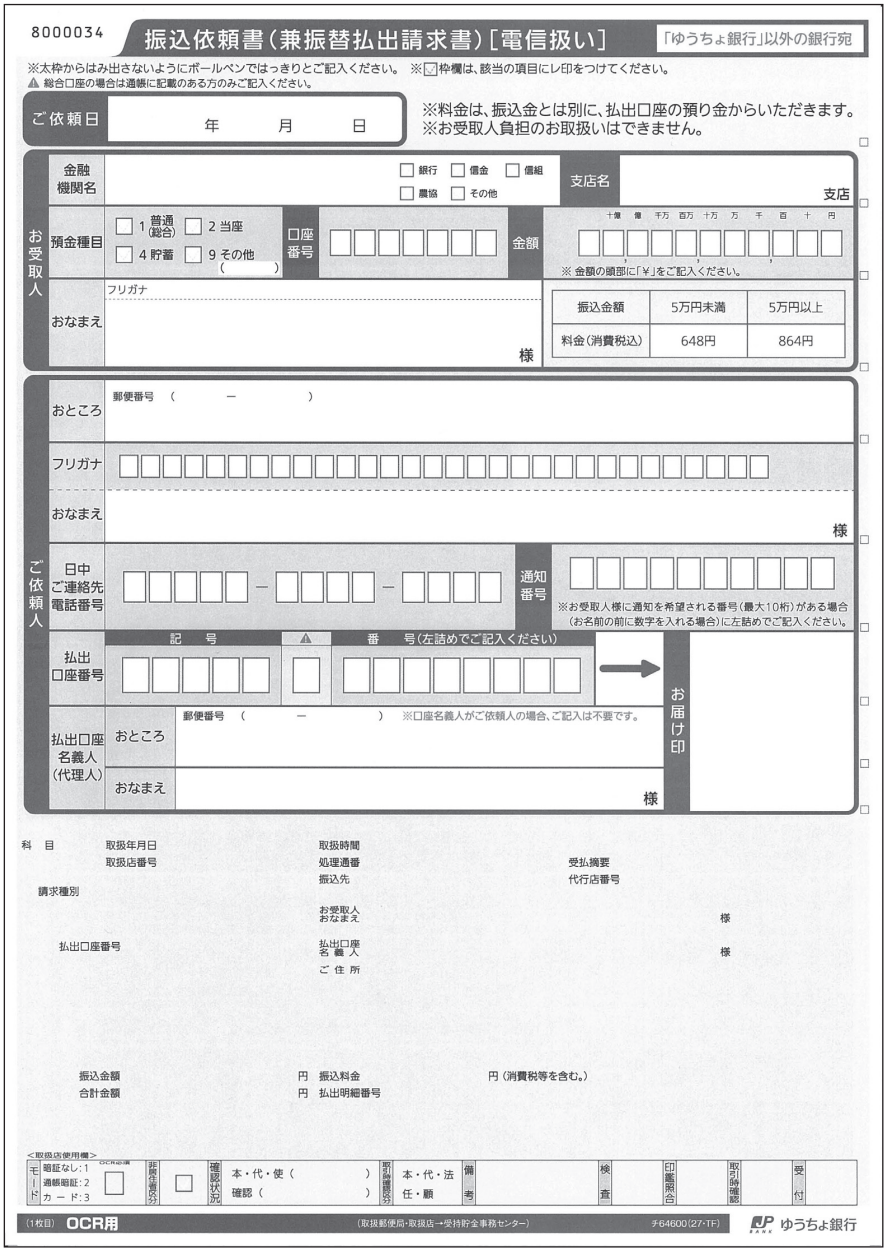
検定料は郵便局（ゆうちょ銀行）からも振り込むことができますが、以下の条件を満たす必要がありますので、ご注意ください。

1）ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は口座からのみ可能で、**現金による振込はできません**。ご利用の際は、『通帳とお届け印』又は『キャッシュカード』が必要です。

2）ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は、募集要項に添付されている振込依頼書を使用することはできません。窓口でゆうちょ銀行の「振込依頼書（以下参照）」を受け取り、記入いただく必要があります。

3）振込後は「振込依頼書（兼振替払出請求書〔電信扱い〕（お客さま控 ）」を受領し、「検定料振込済証明書貼付票」には貼らずに、「検定料振込済証明書貼付票」といっしょに提出してください。

※ゆうちょ銀行専用の振込依頼書（サンプル）


8000034 振込依頼書（兼振替払出請求書）［電信扱い］ 「ゆうちょ銀行」以外の銀行宛

※太枠からはみ出さないようにボールペンではっきりとご記入ください。 ※☑枠欄は、該当の項目にレ印をつけてください。
▲ 総合口座の場合は通帳に記載のある方のみご記入ください。

ご依頼日 年 月 日

※料金は、振込金とは別に、払出口座の預り金からいただきます。
※お受取人負担のお取扱いはできません。

お受取人
金融機関名 □銀行 □信金 □信組 □農協 □その他 支店名 支店
預金種目 □1 普通（総合） □2 当座 □4 貯蓄 □9 その他（ ） 口座番号 金額 十億 億 千万 百万 十万 万 千 百 十 円
※ 金額の頭部に「¥」をご記入ください。
おなまえ フリガナ 様

振込金額	5万円未満	5万円以上
料金（消費税込）	648円	864円

ご依頼人
おところ 郵便番号（ ー ）
フリガナ
おなまえ 様
日中ご連絡先電話番号 ー ー 通知番号
※お受取人様に通知を希望される番号（最大10桁）がある場合（お名前の前に数字を入れる場合）に左詰めでご記入ください。
払出口座番号 記号 ▲ 番号（左詰めでご記入ください）
お届け印
払出口座名義人（代理人） おところ 郵便番号（ ー ） ※口座名義人がご依頼人の場合、ご記入は不要です。
おなまえ 様

科目 取扱年月日 取扱時間 受払摘要
取扱店番号 処理通番 代行店番号
請求種別 振込先
お受取人おなまえ 様
払出口座番号 払出口座名義人 様
ご住所
振込金額 円 振込料金 円（消費税等を含む。）
合計金額 円 払出明細番号

<取扱店使用欄>
モード 暗証なし：1 通帳暗証：2 カード：3 OCR処理 非定型受付分 確認状況 本・代・使（ ） 確認（ ） 取引時確認区分 本・代・法 任・顧 備考 検査 印鑑照合 取引時確認 受付

（1枚目） OCR用 （取扱郵便局・取扱店→受持貯金事務センター） チ64600（27-TF） ゆうちょ銀行

令和３年度　仙台高等専門学校専攻科

入　学　願　書

受検番号	※

選抜種別 （該当するものを○で囲んでください。）	推薦選抜　・　社会人特別選抜　・　学力選抜
志望専攻名 （志望する専攻を○で囲んでください。）	情報電子システム工学専攻　・　生産システムデザイン工学専攻
生産システムデザイン工学専攻の志望者は、配属希望のコースを○で囲んでください。	生産システム工学コース　・　建築デザイン学コース
生産システムデザイン工学専攻志願者のうち「生産システム工学コース」の配属を希望し学力選抜に出願する者は、受検する専門科目を右の群から１つ選択して○で囲んでください。	Ⅰ群　・　Ⅱ群　・　Ⅲ群

＜注意＞ その他のコース・専攻においては、専門科目の選択を要しないか、当日試験開始後の選択となります。

志願者	ふりがな		男・女	生年月日
	氏名			西暦　　年　　月　　日
	現住所	〒 TEL（　　）　　局　　番		
	出願資格 （卒業学校）	高等専門学校　　学科 短期大学　　科 専門学校　　科 （西暦　　年　　月 卒業・卒業見込・修了・修了見込） 所在地　〒 TEL（　　）　　局　　番		
	学歴・職歴	西暦　　年　　月　　日	中学校卒業	
		自　西暦　　年　　月　　日 至　西暦　　年　　月　　日		
		自　西暦　　年　　月　　日 至　西暦　　年　　月　　日		
		自　西暦　　年　　月　　日 至　西暦　　年　　月　　日		
		自　西暦　　年　　月　　日 至　西暦　　年　　月　　日		
勤務先名（所在地）		TEL（　　）　　局　　番 （〒　　）		
合格通知書等の受信場所 （現住所以外の場合は記入）		〒 TEL（　　）　　局　　番		

記入上の注意
1　学歴・職歴は、中学校卒業後から記入すること。
2　勤務先は、企業等に在職のまま入学を希望する者のみ記入すること。
3　※欄は、記入しないこと。
4　ペン又はボールペン（黒又は青）を使用し、楷書で正確に記入すること。

写　真　票

令和３年度 専攻科

受検番号	※
選抜種別	推薦・社会人特別選抜・学力
志望専攻名	工学専攻
志望コース名（生産システムデザイン工学専攻の志願者のみ）	生産　・　建築
ふりがな	
氏　　名	
生年月日	西暦　　年　　月　　日

写　真

上半身・脱帽・正面で、
出願の３か月以内に
撮影したものを貼付
（縦４㎝×横３㎝）

仙台高等専門学校

※印の欄は記入しないこと。

（切り離さないでください）

受　検　票

令和３年度 専攻科

受検番号	※
選抜種別	推薦・社会人特別選抜・学力
志望専攻名	工学専攻
志望コース名（生産システムデザイン工学専攻の志願者のみ）	生産　・　建築
ふりがな	
氏　　名	

選抜日時

推薦選抜
令和2年 5月21日（木）10時
社会人特別選抜
令和2年 5月21日（木）10時
学力選抜
令和2年 6月12日（金）
- 情報電子システム工学専攻　9時
- 生産システムデザイン工学専攻　10時

検査場所

情報電子システム工学専攻
→ 広瀬キャンパス
生産システムデザイン工学専攻
→ 名取キャンパス

仙台高等専門学校

※印の欄は記入しないこと。

受 検 番 号	※

検定料振込済証明書貼付票

志　願　者　氏　名

（検定料振込済証明書
（学校提出用）貼付箇所）

◎ 取扱銀行収納印のある
「検定料振込済証明書」
を貼付してください。
（本人保管の「受取書」は
貼付しないでください。
また、取扱銀行収納印の
ないものは無効です。）

◎ 必ず銀行の受付窓口で
振り込んでください。
ＡＴＭからの振込は証明
書が発行されないため
使用できません。

※ 既納の検定料は、理由のいかんに
かかわらず返還しません。

令和３年度　仙台高等専門学校
専攻科入学者選抜

調　　査　　書

受検番号	※
志望専攻	工学専攻

ふりがな 氏　　名		学　校 ・ 学科名	国 立 公 立 私 立	高等専門学校 学科
生年月日	西暦　　年　　月　　日	西暦　　年　　月　入学・編入学・転入学		
性　　別	男　・　女	西暦　　年　　月　卒業・卒業見込		
成　　績 証 明 書	出身高等専門学校所定の用紙を使用し、当該学校長が作成し厳封したものを添付してください（成績の評価を標語で記入の場合は、標語の評点基準を明示してください。）。			

学科内席次	学年	順　　位	標　語　の　評　点　基　準		
	１年	人中　　位	S	秀	点～　　点
	２年	人中　　位	A	優	点～　　点
	３年	人中　　位	B	良	点～　　点
	４年	人中　　位	C	可	点～　　点
	５年	人中　　位	D	不可	点～　　点

卒業研究 題　　目	
在学中の状況	休学期間： 休学理由：
	記載者氏名 印

上記のとおり相違ないことを証明する。

西暦　　年　　月　　日

所 在 地

学 校 名

学校長名　　職印

※在学中の状況欄は、人物・課外活動・生活態度等を記入してください。

推薦選抜用

受検番号	※

推　　薦　　書

西暦　　年　　月　　日

仙台高等専門学校長　殿

学 校 名
学校長名　　印

下記の者は、学業成績、人物共に優秀であり、貴校専攻科入学者としてふさわしい者と認められるので推薦します。

記

志望専攻　：　　工学専攻

所属学科　：　　学科

氏　　名　：

生年月日　：　西暦　　年　　月　　日生

記載者の職・氏名	印

推薦事由	
その他の参考事由	

推薦選抜・社会人特別選抜 用

◎　両面印刷のこと

入 学 志 願 者 自 己 調 書

受検番号	※

志望専攻 （該当に〇）	情報電子システム工学専攻　・　生産システムデザイン工学専攻		
所　　属 （学校/ 学科） （企業/課･係）		ふりがな	
		氏　名	

①　進学の動機	
②　大学編入ではなく本校専攻科を志望する理由	
③　学科在学中に力を入れたこと	
④　卒業研究題目	
⑤　卒業研究要旨	

◎　両面印刷のこと

受検番号	※
ふりがな 氏　名	
志望専攻 （該当に〇）	情報電子システム　・　生産システムデザイン　工学専攻

⑥　専攻科で力を入れたいこと（専攻研究以外で）	
⑦　専攻研究に関する抱負	
⑧　専攻科修了後の進路について	

以上

社会人特別選抜用

受検番号	※

受　検　承　諾　書

西暦　　年　　月　　日

仙台高等専門学校長　殿

企業等名:

所 属 長:　　印

下記の者が、仙台高等専門学校専攻科 社会人特別選抜検査を受検することを承諾します。

記

出 願 者 氏 名:

生　年　月　日:　西暦　　年　　月　　日（　　歳）

所属(部課等）:

在　職　期　間:　自　西暦　　年　　月　　日
至　現在

宛 名 票

□□□−□□□□

※受検番号

様方

様

□□□−□□□□

※受検番号

様方

様

・ この宛名票は、本校より受検者宛てに通知する際に使用するものです。番地まで楷書で正確に記入してください。団地等に住んでいる場合は、○○団地○○号棟○○番と記入しないと郵便物が届かない場合がありますので、特に注意してください。
・ ※印欄は記入しないでください。
・ 記入後は、切り離さずにこのまま同封してください。

検定料振込依頼書

※必ず銀行の窓口で振込手続きをしてください。
（ATM 使用不可）

※「学校名・氏名」欄は志願者の在籍中学校が分かるように記入してください。

〈記入例〉

仙台中（センダイチュウ）　高専太郎（コウセンタロウ）

※ここから切り離して使用してください

検定料振込済証明書

〔志願者が高専へ提出する〕

令和　年　月　日						
金　額	￥	1	6	5	0	0
振込先銀行	七十七銀行宮城町支店					
受取人	普通	口座番号	5428688			
	独立行政法人 国立高等専門学校機構本部					
氏名(カナ)						
ご依頼人（志願者）						
摘　要	令和３年度　入学試験検定料					

（注意）
・振込には必ずこの振込用紙を使用してください。
・本票は、出願期間内に出願書類に貼付け、高専に提出してください。
・本票に、取扱銀行収納印が無い場合は無効です。

取扱銀行収納印 1

納付後本人切り離し

検定料振込金（兼手数料）受　取　書（本人保存）

令和　年　月　日						
金　額	￥	1	6	5	0	0
振込先銀行	七十七銀行宮城町支店					
受取人	普通	口座番号	5428688			
	独立行政法人 国立高等専門学校機構本部					
ご依頼人（志願者）						
摘　要	令和３年度　入学試験検定料					
	手数料（消費税込）					円

上記の金額正に受取りました

（取扱店）

銀行

支店

取扱銀行収納印 2

印紙

銀行切り離し

取扱銀行へのお願い

(一) 太枠内に打電してください。（必ず依頼人の氏名（カナ）を打電してください。）
(二) 収納印は1・2・3にもれなく正確に押印し、1・2各票は依頼人にお返しください。
(三) 金額の訂正してあるものは受付ないでください。

電信扱　振込依頼書（取扱店保存）

科　目	検　定　料

依頼日	令和　年　月　日	振込指定	電信扱	手数料				円
振込先銀行	七十七銀行宮城町支店	金　額	￥	1	6	5	0	0
受取人	普通	口座番号	5428688					
	ドク.コクリツコウトウセンモンガツコウキコウホンブ 独立行政法人 国立高等専門学校機構本部							
ご依頼人（志願者）	氏名(カナ)							
	氏　名（漢　字）							
	(住所)〒 (電話番号)　（　　）							

取扱銀行収納印 3

取扱銀行保管

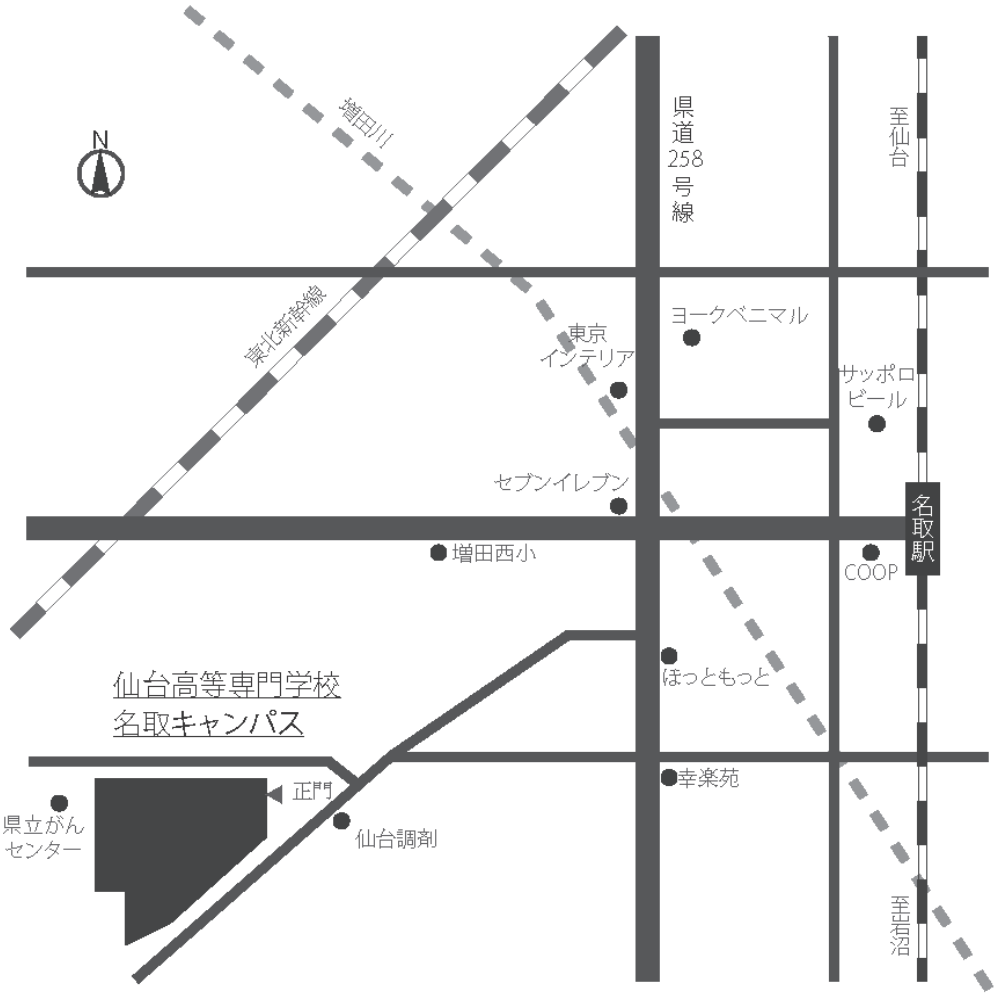
仙台高専・広瀬キャンパス案内図

【交通案内】

●ＪＲ「仙台駅」から仙山線に乗車約３０分、「愛子駅」下車、徒歩約１５分（約 900m）

●仙台市営バス、仙台駅前から作並温泉、定義、白沢車庫行きに乗車、約４５分、
「仙台高専広瀬キャンパス入口」下車徒歩５分（約 400m）

仙台高専・名取キャンパス案内図



【交通案内】

- ＪＲ東北本線、常磐線及び仙台空港アクセス鉄道とも「名取駅」で下車し、徒歩約２５分
- 「名取駅西口」から幹線路線バス「なとりん号」≪県立がんセンター線≫に乗車し、「仙台高専名取キャンパス前」で下車（所要時間約５分）